

新型コロナウイルス感染症－感染症学会からの提言

武漢市を中心に中国のほとんどの地域から4,500人を超える感染例が報告されています(1月28日現在)。また世界的には、日本を含めて、タイ、香港、マカオ、米国、オーストラリア、シンガポールなど15カ国で感染例が報告されています。これら中国以外での感染報告例のほとんどは中国(多くが武漢市)からの旅行者ですが、それぞれの国で新型コロナウイルス感染症に対する検査がどのように実施されているのか、どのくらいの頻度で行われているのかが不明であり、正確な広がりや推定することが難しい状況にあります。これから数週間に亘り、検査される人数の増加と相まって新型コロナウイルス感染症患者は増加することが予想されます。このとき、感染源不明の二次感染例がどのくらいの頻度で検出されてくるのかは重要な情報となります。二次感染例の推移を参考に、新型コロナウイルスの感染性および今後の広がりを評価していくことが重要となります¹⁾。

人間に病気を起こすコロナウイルス(RNAウイルス)は6つが知られています。229E、OC43、NL63、HKU1の4つは、いわゆる「風邪の原因ウイルス」です。加えて、2002年と12年にSARS-CoVとMERS-CoVが感染症を起こしています。この2つは下気道感染を起こすウイルスで、前4者とは明らかに臨床像が異なっていました。そして昨年12月下旬に、中国武漢市で7番目の人間に感染を起こすコロナウイルスが発見されました¹⁾。

コロナウイルスは原則として飛沫感染により伝播します。現時点では空気感染の可能性はきわめて低いと考えられます。したがって、感染対策は標準予防策に加えて飛沫予防策・接触予防策を徹底することが基本となります。ウイルスで汚染した手指を介して目・口の粘膜から感染が伝播される可能性にも注意しなければなりません。手指衛生の徹底は感染対策の基本中の基本です。患者および医療スタッフが飛沫を直接浴びないように、サージカルマスクやガウンを着用して診療にあたるのが重要です。また、気管吸引、挿管などのエアロゾル発生のリスクが高い処置を行う場合には、一時的に空気感染のリスクが生じると考えられているため、N95マスクを含めた空気予防策の実施も必要となります²⁾。しかし、一般の人たちがマスクに過度の期待を持つことは危険であり、うがい・手洗いのほうが重要です、マスクはその補完をするものと考えたほうがよいでしょう³⁾。

新型コロナウイルス感染症の症状は発熱、気道症状、下痢などが見られ、検査所見では白血球はほとんど正常で、CRPは5程度と、軽度上昇だそうです。CTでは、多発するすりガラス様陰影が認められます。下痢はあっても下痢便ではPCR陽性にはならないそうです

2)。検体採取は上気道の咽頭ぬぐいよりも下気道由来の痰が推奨されています¹⁾。本感染症の死亡率は3%程度と考えられていますが、入院するくらい重症例の場合、死亡率は15%と高く、ステロイド剤やタミフルは無効です。症状出現から呼吸困難発症までの時間は8日と割と長いのも特徴的とされます⁴⁾。

2月7日に新型コロナウイルスによる感染症が感染症法の「指定感染症」に指定されることが決まりました。これにより新型コロナウイルス患者を医療費の公費負担のもとに隔離することができるようになります。感染症数の把握、制御を行いやすくするための施策です。指定感染症になったとしても、我々ができること、しなければいけないことに変わりはありません。上述した飛沫予防策、標準予防策、手洗い・手指衛生の徹底がもっとも重要です。武漢市などの中国からの訪問者で、臨床症状や検査から肺炎が疑われる場合には、直ちに行政機関に報告する必要があります。1月28日現在、国内すべての自治体の指定検査所（地方衛生研究所等）でウイルス検査が可能となっています。

もし、あなたが新型コロナウイルス感染症にかかったかかもしれないと思ったら、医療機関をすぐに受診するのではなく、保健所に連絡するか、最寄りの保健所は、厚生労働省のこちらから検索できます

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/hokenjo/

もしくは、厚生労働省のコールセンター

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09151.html

に連絡ください。なかなかつながらないので、かかりつけ医に電話相談するのが早いかもしれません。

これからいろいろな情報が錯そうするかもしれませんが正しい情報を得るようにしてください。

信頼できる情報サイトとして

厚生労働省：新型コロナウイルスに関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html

国立感染症研究所：

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html>

.CDC 情報：

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-nCoV/guidance-hcp.html>

などがあります。

菊池中央病院

中川 義久

令和2年1月31日

参考文献

- 1) 新型コロナウイルス感染症
http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31
- 2) 新型コロナウイルス肺炎で今、分かっていること
<https://medical-tribune.co.jp/rensai/2020/0127524061/>
- 3) 檜垣誠吾：マスクとインフルエンザ対策．機能紙研究会誌
2009；48；37－40．
- 4) 新型コロナウイルスの流行はどのくらい深刻なのか？
<https://www.m3.com/clinical/news/724349?portalId=mailmag&mmp=WE200130&mc.l=563476031&eml=cf17aa86db3b89b431caacb71de152cb>